

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2277102113		
法人名	医療法人社団 静隆会		
事業所名	グループホーム市野の家 1号館		
所在地	静岡県浜松市東区市野町287-1		
自己評価作成日	平成29年8月3日	評価結果市町村受理日	平成29年9月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/zz/index.php?action_kounyo_u_detail_2016_022_kani=true&lievosvoCd=2277102113-

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成29年9月7日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念でもある【明るい笑顔 優しい対応 心のふれあいと家庭のぬくもりを大切に】を職員一人ひとりが共有し、行事や四季折々の景色を入居者様と楽しんだり、悩み事や、日々考えていらっしゃる事を、自然な会話の中で話せる関係作りをさせて頂いております。また、ご家族様やキーパーソンとの連携を取り、信頼の中でケアをさせて頂けるよう心掛けております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

200店舗余を擁する「イオン浜松市野ショッピングセンター」でお馴染みの市野町に事業所があります。職員自身が「地域の人」ということに助けられる場面が多く、中学生の福祉体験をはじめ遊びに立ち寄る子どもたちも職員の子弟とあって、温もりのある地域とのつながりが続く事業所です。職員も芸達者でサービス精神に長け、管理者は見事な包丁さばきで魚をおろし「板さん」と利用者から呼ばれ、琴の師範である介護支援専門員の調べに乗せて75歳の職員が手踊りを披露する日も在り、浜松祭りでは市野風揚げ会の練りが事業所都合に副って時間を組みなおして下さる等内外からの「もてなし」が利用者の笑顔に結ばれています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「明るい笑顔、優しい対応、家庭のぬくもりと、心の触れ合いを大切に」という市野の家の理念を職員一人ひとりが共有し、地域の皆様との交流を大切にしていきたいと思えます。	8月中旬に入社したフレッシュな職員に毎週月曜日の朝礼での理念読み上げを依頼し、早く馴染んでもらおうとの試みもあります。また吃音の症状をもつ職員には苛立つ利用者もいるため、配置やシフトの工夫、他職員のフォローで補う等皆で理念に向かう姿勢が在ります。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入しておりますので、地域の行事のお祭りや敬老会にも参加させていただいております。	職員自身が「地域の人」ということに助けられる場面も多く、中学生の福祉体験をはじめ遊びに立ち寄る子どもたちも職員の子弟とあって、温もりのある地域とのつながりが続いています。また職員採用も地域に張り紙告知で募集し、「99歳まで可」と雇用貢献にもつなげています。	「回覧板を廻してもらえないか」、一度自治会長に確認してみることを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	任意でご家族から介護の実体験を話して頂ける運営推進会議等で地域の方々と認知症の方々を理解して頂ける機会を設けております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、職員も出来る限り参加し、サービスの取り組みの発表をさせて頂いております。また、地域の方やご家族に意見やご指摘を頂ける雰囲気を作るように心掛けております。	生活保護利用が18名とあって家族出席は見込めないものの、市役所介護保険課、地域包括支援センター、自治会長、民生委員に集まってもらえ、また事業所でも年6回の内1回は施設内を案内しつつ直に見てもらうことで新たな助言を求めるといった工夫もしています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市担当者とは定期的に連絡をし、お話しさせて頂き、情報交換や相談を行っております。	市役所には運営推進会議の議事録を持参するほか、生活保護受給の利用者については担当窓口へ月4～5回は出向き、現状共有に努めています。行政主催の研修会の案内は届いていますが、今のところ参加はできていません。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束ゼロを掲げておりますので、日々の業務において、絶対に拘束がないようにケアを行っております。	現場での疑問はその場で解決するようにしていますが、上手くゆかないときは管理者と相談し合って解決を図っています。気になる言葉や「待って」だけでなく、誤解を受けやすい言葉については「どうしてそうなのか」を皆で考える場もあります。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	セミナーや各種講習への参加経験を基にして、常に情報交換をし、介護の質や虐待への理解向上に努めております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者のご家族が後見人制度の手続きをされたい時には、関係機関へのご紹介や、制度の説明をさせて頂いております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時の説明の重要性を十分に理解し、入居者様とご家族に疑問点が残らないように心掛けております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議での皆さんからの意見や、面会に来られた際には、気兼ねなく意見を頂き、改善した点をご報告させて頂いております。	丁寧に説明することを旨としています。認知症の症状が進み、洋服を破るなど物への破壊行動を繰り返すため、了解を得ずに居室の物を移動してしまったことから家族を驚かせ心配をかけてしまった失敗では、速やかに理由を説明して安心してもらえたこともあります。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定例会を月に一回行っており、意見や質疑を交換しております。	最近では職員意見で掃除の仕方を替えています。朝礼は週1回、定例会を月1回、個人面談を随時おこない、管理者はプライベートな相談にも応じ、また未だ資格を持たない職員からの介護技術への疑義も対応して、概ね困りごとが集まっています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	認知症についての知識を積極的に学び、意見を交換する環境を整えることにより、向上心の持てる職場を目指しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループ内の研修は全員参加し、新たな情報や知識を共有する環境を整えております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 い	同業者との繋がりを大切にし、頻繁に意見の交換をしております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前の資料を基に、今後、安心して生活をして頂けるようにコミュニケーションを密に取り、より良い関係でいられるよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面接の段階から、安心して話していただけるよう気配りをして、より良い関係でいられるよう努めております。また入居されてから暫くは、細かな事でも連絡をさせて頂き、ご家族や入居者様のご要望を叶えられるよう努力しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人家族と共に話し合いを持って、希望に添った支援が出来るよう努めております。また、ケアプランの内容を確認して頂き、ご指摘があればスムーズに改善させて頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常に本人の思いを大切に、思いやりを持って接するようにしています。入居者様から、働いている職員というだけでは無く、人間味のある一人の人間として暮らしを共にさせて頂いております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の思い、また本人の思いを、常に念頭に置き話し合いを持ちながら、より良い支援が出来るよう努めております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブなどで出来る限り、入居者様の思い入れのある土地に触れる機会を持ち、また情報を収集する事で会話の中に馴染みの人や場所の話を出すよう心掛けております。	身寄りがない人や家族との縁が薄い人が大半のため、馴染みの関係は少なく、またその存在も本人に確認するしかなく、支援が難しい状況にあります。それでも家族と墓参が叶ったり、病院が親しんだ場所として心に在る人もいて、判る範囲で応援しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合った利用者同士の関係等はより良い関係でいられる様に温かく見守りしながら支援し、一人で居たいような入居者様にも上手くアプローチし、孤立する事がないよう個々に合ったケアをさせて頂いております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されたあとも、何かあれば連絡を頂くように声をかけております。また実際に連絡を頂いた際には、出来る限りのご協力をさせて頂いております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声をかけ、言葉や表情の変化や印象などから、希望や意向を汲み取るように努めております。	認知症の症状へのかかわり方を心得ている職員が多くいます。暴言・乱暴行動が以前の施設では問題とされていた人も、職員の尊重、タッチングなど感情に寄り添うアプローチの積み重ねで本人が安心を取り戻し、今では朗らかになった例もあります。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	可能な限り本人から聞き取りを行い、家族からも生活歴を伺い、それまでの生活になるべく近い生活リズムで生活をして頂いております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様一人ひとりの生活リズムを理解し、行動、言葉、表情から、その人の現状の把握に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人からの聞き取りと、ご家族の意向を聞き、モニタリングを参考に、職員が記録した個人別介護記録を反映させ、介護計画を作成しております。	3ヶ月に1度、ユニット毎にサービス担当者会議を開催しています。介護記録(必要に応じ、血圧チェック表、排便チェック表、水分チェック表も含)を基にADL観察から本人に口頭で確認するなどして、介護計画書に反映させています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録の記入を行い、日々の様子を把握し、傾向や変化に気づき、それを基に職員間でしっかり話し合うようにしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族の代わりに受診支援、緊急時の対応、個別の買い物支援を柔軟に行っております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	周辺地域の機関からの協力と理解が得られるように、運営推進会議などに語り掛けております。また、ボランティアの方にも御協力いただき、ふれあいコンサート等を行いながら楽しんで頂いております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	常に状態観察により、体調の把握や異常の早期発見に努め、医師との連携、情報交換がスムーズに行われ、適切な医療を受ける事ができるよう努めております。	協力医の訪問診療を10名が受診しています。従来のかかりつけ医を続けて家族が通院介助をしていますが、状態が悪かったり、家族が難しいとなれば職員も付き添って、また家族不在の人には専門医も職員が受診支援するため、概ね職員が立ち会うことになっています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回、看護師による訪問があります。その時に日々の心身の状態や情報、気づきを伝え、指示を受けながら、入居様が適切な受診や看護を受けられるように支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族、医療機関との連絡を密に取り、早期退院に向けての話し合いを行っております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合、ご本人やご家族の意向に添い、状況によりターミナルケアを行う事もあります。	看取りはおこなうとして、此处2年で3名のお見送りをしています。口径摂取ができなくなったら重度化したとみて医者の診断を仰ぎ家族と相談していますが、「住み慣れた場所で最期を迎えさせてやりたい」との家族意向がほとんどを占めます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署指導のもと、年に一度AEDを使って心肺蘇生訓練を行っております。急変時には各館職員が、協力、応援に入る体制を整えております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害についてのマニュアルを用意し、年2回、防災訓練を欠かさずに行っております。	防災訓練は年2回昼・夜想定でおこない、今回は夜間想定実施の際風水害対策も加えています。以前には階段やエレベーターの出入り口の狭さからくる難点を解消する避難方法の指導を受けたことありますが、近年消防署職員の立ち会いはありません。	市には福祉避難所として申請済みとのことでもあり、次の3点が少しでも進むことを期待します。①現状水とアルファ米2日分の備蓄の増量 ②発電機の設置 ③消防署職員の具体的指導を改めて受ける ④地域防災班長との親交を深める

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねないような言葉遣いや支援を心掛けております。	「周りを不快にするような態度や話ほししない」と職員は理解できていて、目上の人、人生の先輩への敬意が言動に滲む職員の存在に管理者は安心しています。植木鉢にごみを置く利用者に仲間が文句を言うという諍いにも職員が間に入って事なきを得た、例もあります。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様が今何をしたいのかを聞きながら、ご本人様が自己決定出来るように努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースや体調を大切にしながら、本人の希望に添って自由に過ごせるように支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい個性を大切に身だしなみや、お洒落を楽しんで頂いております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	味はもちろんの事、盛り付けにも気を配っております。お好きな物を聞き、日曜日のメニューを取り入れたりしております。	毎日配食サービスを利用していますが、利用者からのリクエストがあれば応えたいとする考えからの工夫もみられます。鯉の解体ショーを実演したことから「板さん」と呼ばれることもある管理者は、「ハレの日にはローストビーフを振る舞う」ことを現在のやりがいとしています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お食事の摂取量や水分量を常に記録し、変化がないか気を配っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事の歯磨きの声掛け、介助、義歯の手入れを行っています。月2回、歯科往診があります。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄習慣を把握し、トイレ誘導、声掛け、介助を入居者様毎に行い、自立に向けた支援を行っております。	現在法人では排泄を含めケアサービスの見直しに取り組み、「排泄チェック表は必要なのか?」「記録をする意味とは?」等協議中で、必要な事柄を精査しています。ADLの低下も徐々に進み、維持が精いっぱいうまくいかないことへの対応に廻っての後追いとなる現象も起きています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便があった日はチェックし、職員間で把握をして、散歩、体操等、便秘改善に良さそうな事柄は、随時取り入れております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	その日の体調等に注意しながら、ご本人の希望があれば、出来るだけ入って頂けるように支援しております。	タイル貼りで昭和が香る広い浴室での入浴はおよそ1日置きを目安とし、仲良し二人で入ることもあり、また入りたい人優先でおこなっています。タイル張りの為滑りやすく、危険防止のため浴槽に滑り止めを取り付けて注意を払っています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は個々の居室や共有スペースのソファで、自由に休憩を取って頂き、夜間は安心して気持ち良く眠れるように支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師から処方された薬の目的や、副作用、用法、用量について把握し、必要な服薬支援を行い、症状の確認に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人の出来る事、好きな事を探りながら、日々の生活の中で、役割や気分転換をして頂けるように支援しております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	出来る限り本人の希望に添って、買い物や、散歩等、外出をして頂いております。	近所は交通量が多いため外気浴程度の散策が主で、外出企画は特設設けず、「〇〇が欲しい」との買い物希望に応じてマンツーマンで出かけるといったパターンが慣行されています。畑作業ができる人には一緒に畑の草取りや、野菜の世話をしてもらうこともあります。	買い物での個別対応が計画立てられていることは秀でていますが、年に1度程度は(ユニット毎や小グループでもいいので)外出企画があり、寝起きを共にする人たちと季節や行事を楽しむ日があると、なお良いと思います。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	普段は、紛失、盗難の恐れがある為、職員が管理していますが、買い物に出掛けた際には、本人に支払いをして頂くようにしております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙、電話共に、いつでも、ご自由に書いたり、かけたりして頂いております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花、植物を生けたり、掲示物にも季節感を取り入れ、1~2カ月毎に新しい掲示物に変えております。	季節の植物が玄関入口に飾られ、イベントや日常の様子が一目で判る笑顔の写真が連なり、また各ユニット入口には写真とともにユニットに住まう仲間が誰かも把握できます。また職員と一緒に作った時節の花火やひまわりの貼り絵からは常のさざめきが聞こえてくるかのようです。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った入居者様同士で過ごして頂ける環境を整えたり、おひとりで過ごしたい入居者様には、そのような環境を整え提供し、支援させて頂いております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に、使い慣れた物や、好みの物を持って来て頂き、安心して居心地良く過ごせるように支援しております。	車いすで移動する人やふらつきのある人には動線確保のために持ち込みを減らしたり、破壊行動のある人の居室にはモノがほとんど無かったりという寂しい居室ですが、中には自宅のイメージそのままに愛らしく装飾した人や、遺影や位牌を持ち込む人もいます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレを示す表示や、居室前の名札で、入居者様が分かるように工夫しております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自 己	外 部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2277102113		
法人名	医療法人社団 静隆会		
事業所名	グループホーム市野の家 2号館		
所在地	静岡県浜松市東区市野町287-1		
自己評価作成日	平成29年8月3日	評価結果市町村受理日	平成29年9月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/zz/index.php?action_kounyo_u_detail_2016_022_kani=true&lievosvoCd=2277102113-

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成29年9月7日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念でもある【明るい笑顔 優しい対応 心のふれあいと家庭のぬくもりを大切に】を職員一人ひとりが共有し、行事や四季折々の景色を入居者様と楽しんだり、悩み事や、日々考えていらっしゃる事を、自然な会話の中で話せる関係作りをさせて頂いております。また、ご家族様やキーパーソンとの連携を取り、信頼の中でケアをさせて頂けるよう心掛けております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

200店舗余を擁する「イオン浜松市野ショッピングセンター」でお馴染みの市野町に事業所があります。職員自身が「地域の人」ということに助けられる場面が多く、中学生の福祉体験をはじめ遊びに立ち寄る子どもたちも職員の子弟とあって、温もりのある地域とのつながりが続く事業所です。職員も芸達者でサービス精神に長け、管理者は見事な包丁さばきで魚をおろし「板さん」と利用者から呼ばれ、琴の師範である介護支援専門員の調べに乗せて75歳の職員が手踊りを披露する日も在り、浜松祭りでは市野風揚げ会の練りが事業所都合に副って時間を組みなおして下さる等内外からの「もてなし」が利用者の笑顔に結ばれています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「明るい笑顔、優しい対応、家庭のぬくもりと、心の触れ合いを大切に」という市野の家の理念を職員一人ひとりが共有し、地域の皆様との交流を大切にしていきたいと思えます。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入しておりますので、地域の行事のお祭りや敬老会にも参加させていただいております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	任意でご家族から介護の実体験を話して頂ける運営推進会議等で地域の方々と認知症の方々を理解して頂ける機会を設けております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、職員も出来る限り参加し、サービスの取り組みの発表をさせて頂いております。また、地域の方やご家族に意見やご指摘を頂ける雰囲気を作るように心掛けております。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市担当者とは定期的に連絡をし、お話しさせて頂き、情報交換や相談を行っております。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束ゼロを掲げておりますので、日々の業務において、絶対に拘束がないようにケアを行っております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	セミナーや各種講習への参加経験を基にして、常に情報交換をし、介護の質や虐待への理解向上に努めております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者のご家族が後見人制度の手続きをされたい時には、関係機関へのご紹介や、制度の説明をさせて頂いております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時の説明の重要性を十分に理解し、入居者様とご家族に疑問点が残らないように心掛けております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議での皆さんからの意見や、面会に来られた際には、気兼ねなく意見を頂き、改善した点をご報告させて頂いております。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定例会を月に一回行っており、意見や質疑を交換しております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	認知症に関する知識を積極的に学び、意見を交換する環境を整えることにより、向上心の持てる職場を目指しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループ内の研修は全員参加し、新たな情報や知識を共有する環境を整えております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 い	同業者との繋がりを大切にし、頻繁に意見の交換をしております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前の資料を基に、今後、安心して生活をして頂けるようにコミュニケーションを密に取り、より良い関係でいられるよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面接の段階から、安心して話していただけるよう気配りをして、より良い関係でいられるよう努めております。また入居されてから暫くは、細かな事でも連絡をさせて頂き、ご家族や入居者様のご要望を叶えられるよう努力しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人家族と共に話し合いを持って、希望に添った支援が出来るよう努めております。また、ケアプランの内容を確認して頂き、ご指摘があればスムーズに改善させて頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常に本人の思いを大切に、思いやりを持って接するようにしています。入居者様から、働いている職員というだけでは無く、人間味のある一人の人間として暮らしを共にさせて頂いております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の思い、また本人の思いを、常に念頭に置き話し合いを持ちながら、より良い支援が出来るよう努めております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブなどで出来る限り、入居者様の思い入れのある土地に触れる機会を持ち、また情報を収集する事で会話の中に馴染みの人や場所の話を出すよう心掛けております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合った利用者同士の関係等はより良い関係でいられる様に温かく見守りしながら支援し、一人で居たいような入居者様にも上手くアプローチし、孤立する事がないよう個々に合ったケアをさせて頂いております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されたあとも、何かあれば連絡を頂くように声をかけております。また実際に連絡を頂いた際には、出来る限りのご協力をさせて頂いております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声をかけ、言葉や表情の変化や印象などから、希望や意向を汲み取るように努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	可能な限り本人から聞き取りを行い、家族からも生活歴を伺い、それまでの生活になるべく近い生活リズムで生活をして頂いております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様一人ひとりの生活リズムを理解し、行動、言葉、表情から、その人の現状の把握に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人からの聞き取りと、ご家族の意向を聞き、モニタリングを参考に、職員が記録した個人別介護記録を反映させ、介護計画を作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録の記入を行い、日々の様子を把握し、傾向や変化に気づき、それを基に職員間でしっかり話し合うようにしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族の代わりに受診支援、緊急時の対応、個別の買い物支援を柔軟に行っております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	周辺地域の機関からの協力と理解が得られるように、運営推進会議などに語り掛けております。また、ボランティアの方にも御協力いただき、ふれあいコンサート等を行いながら楽しんで頂いております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	常に状態観察により、体調の把握や異常の早期発見に努め、医師との連携、情報交換がスムーズに行われ、適切な医療を受ける事ができるよう努めております。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回、看護師による訪問があります。その時に日々の心身の状態や情報、気づきを伝え、指示を受けながら、入居者様が適切な受診や看護を受けられるように支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族、医療機関との連絡を密に取り、早期退院に向けての話し合いを行っております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合、ご本人やご家族の意向に添い、状況によりターミナルケアを行う事もあります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署指導のもと、年に一度AEDを使って心肺蘇生訓練を行っております。急変時には各館職員が、協力、応援に入る体制を整えております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身に付けるとともに、地域との協力体制を築いている	災害についてのマニュアルを用意し、年2回、防災訓練を欠かさずに行っております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねないような言葉遣いや支援を心掛けております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様が今何をしたいのかを聞きながら、ご本人様が自己決定出来るように努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースや体調を大切にしながら、本人の希望に添って自由に過ごせるように支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい個性を大切に身だしなみや、お洒落を楽しんで頂いております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	味はもちろんの事、盛り付けにも気を配っております。お好きな物を聞き、日曜日のメニューを取り入れたりしております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お食事の摂取量や水分量を常に記録し、変化がないか気を配っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事の歯磨きの声掛け、介助、義歯の手入れを行っています。月2回、歯科往診があります。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄習慣を把握し、トイレ誘導、声掛け、介助を入居者様毎に行い、自立に向けた支援を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便があった日はチェックし、職員間で把握をして、散歩、体操等、便秘改善に良さそうな事柄は、随時取り入れております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	その日の体調等に注意しながら、ご本人の希望があれば、出来るだけ入って頂けるように支援しております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は個々の居室や共有スペースのソファで、自由に休憩を取って頂き、夜間は安心して気持ち良く眠れるように支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師から処方された薬の目的や、副作用、用法、用量について把握し、必要な服薬支援を行い、症状の確認に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人の出来る事、好きな事を探りながら、日々の生活の中で、役割や気分転換をして頂けるように支援しております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来る限り本人の希望に添って、買い物や、散歩等、外出をして頂いております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	普段は、紛失、盗難の恐れがある為、職員が管理していますが、買い物に出掛けた際には、本人に支払いをして頂くようにしております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙、電話共に、いつでも、ご自由に書いたり、かけたりして頂いております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花、植物を生けたり、掲示物にも季節感を取り入れ、1~2カ月毎に新しい掲示物に変えております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った入居者様同士で過ごして頂ける環境を整えたり、おひとりで過ごしたい入居者様には、そのような環境を整え提供し、支援させて頂いております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に、使い慣れた物や、好みの物を持って来て頂き、安心して居心地良く過ごせるように支援しております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレを示す表示や、居室前の名札で、入居者様が分かるように工夫しております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2277102113		
法人名	医療法人社団 静隆会		
事業所名	グループホーム市野の家 3号館		
所在地	静岡県浜松市東区市野町287-1		
自己評価作成日	平成29年8月3日	評価結果市町村受理日	平成29年9月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/zz/index.php?action_kounyo_u_detail_2016_022_kani=true&lievosvoCd=2277102113-

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成29年9月7日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念でもある【明るい笑顔 優しい対応 心のふれあいと家庭のぬくもりを大切に】を職員一人ひとりが共有し、行事や四季折々の景色を入居者様と楽しんだり、悩み事や、日々考えていらっしゃる事を、自然な会話の中で話せる関係作りをさせて頂いております。また、ご家族様やキーパーソンとの連携を取り、信頼の中でケアをさせて頂けるよう心掛けております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

200店舗余を擁する「イオン浜松市野ショッピングセンター」でお馴染みの市野町に事業所があります。職員自身が「地域の人」ということに助けられる場面が多く、中学生の福祉体験をはじめ遊びに立ち寄る子どもたちも職員の子弟とあって、温もりのある地域とのつながりが続く事業所です。職員も芸達者でサービス精神に長け、管理者は見事な包丁さばきで魚をおろし「板さん」と利用者から呼ばれ、琴の師範である介護支援専門員の調べに乗せて75歳の職員が手踊りを披露する日も在り、浜松祭りでは市野風揚げ会の練りが事業所都合に副って時間を組みなおして下さる等内外からの「もてなし」が利用者の笑顔に結ばれています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

静岡県(グループホーム市野の家 3号館)

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「明るい笑顔、優しい対応、家庭のぬくもりと、心の触れ合いを大切に」という市野の家の理念を職員一人ひとりが共有し、地域の皆様との交流を大切にしていきたいと思えます。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入しておりますので、地域の行事のお祭りや敬老会にも参加させていただいております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	任意でご家族から介護の実体験を話して頂ける運営推進会議等で地域の方々と認知症の方々を理解して頂ける機会を設けております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、職員も出来る限り参加し、サービスの取り組みの発表をさせて頂いております。また、地域の方やご家族に意見やご指摘を頂ける雰囲気を作るように心掛けております。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市担当者とは定期的に連絡をし、お話しさせて頂き、情報交換や相談を行っております。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束ゼロを掲げておりますので、日々の業務において、絶対に拘束がないようにケアを行っております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	セミナーや各種講習への参加経験を基にして、常に情報交換をし、介護の質や虐待への理解向上に努めております。		

自己評価および外部評価結果

静岡県(グループホーム市野の家 3号館)

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者のご家族が後見人制度の手続きをされたい時には、関係機関へのご紹介や、制度の説明をさせて頂いております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時の説明の重要性を十分に理解し、入居者様とご家族に疑問点が残らないように心掛けております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議での皆さんからの意見や、面会に来られた際には、気兼ねなく意見を頂き、改善した点をご報告させて頂いております。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定例会を月に一回行っており、意見や質疑を交換しております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	認知症に関する知識を積極的に学び、意見を交換する環境を整えることにより、向上心の持てる職場を目指しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループ内の研修は全員参加し、新たな情報や知識を共有する環境を整えております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 い	同業者との繋がりを大切にし、頻繁に意見の交換をしております。		

自己評価および外部評価結果

静岡県(グループホーム市野の家 3号館)

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前の資料を基に、今後、安心して生活をして頂けるようにコミュニケーションを密に取り、より良い関係でいられるよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面接の段階から、安心して話していただけるよう気配りをして、より良い関係でいられるよう努めております。また入居されてから暫くは、細かな事でも連絡をさせて頂き、ご家族や入居者様のご要望を叶えられるよう努力しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人家族と共に話し合いを持って、希望に添った支援が出来るよう努めております。また、ケアプランの内容を確認して頂き、ご指摘があればスムーズに改善させて頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常に本人の思いを大切に、思いやりを持って接するようにしています。入居者様から、働いている職員というだけでは無く、人間味のある一人の人間として暮らしを共にさせて頂いております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の思い、また本人の思いを、常に念頭に置き話し合いを持ちながら、より良い支援が出来るよう努めております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブなどで出来る限り、入居者様の思い入れのある土地に触れる機会を持ち、また情報を収集する事で会話の中に馴染みの人や場所の話を出すよう心掛けております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合った利用者同士の関係等はより良い関係でいられる様に温かく見守りしながら支援し、一人で居たいような入居者様にも上手くアプローチし、孤立する事がないよう個々に合ったケアをさせて頂いております。		

自己評価および外部評価結果

静岡県(グループホーム市野の家 3号館)

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されたあとも、何かあれば連絡を頂くように声をかけております。また実際に連絡を頂いた際には、出来る限りのご協力をさせて頂いております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声をかけ、言葉や表情の変化や印象などから、希望や意向を汲み取るように努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	可能な限り本人から聞き取りを行い、家族からも生活歴を伺い、それまでの生活になるべく近い生活リズムで生活をして頂いております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様一人ひとりの生活リズムを理解し、行動、言葉、表情から、その人の現状の把握に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人からの聞き取りと、ご家族の意向を聞き、モニタリングを参考に、職員が記録した個人別介護記録を反映させ、介護計画を作成しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録の記入を行い、日々の様子を把握し、傾向や変化に気づき、それを基に職員間でしっかり話し合うようにしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族の代わりに受診支援、緊急時の対応、個別の買い物支援を柔軟に行っております。		

自己評価および外部評価結果

静岡県(グループホーム市野の家 3号館)

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	周辺地域の機関からの協力と理解が得られるように、運営推進会議などに語り掛けております。また、ボランティアの方にも御協力いただき、ふれあいコンサート等を行いながら楽しんで頂いております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	常に状態観察により、体調の把握や異常の早期発見に努め、医師との連携、情報交換がスムーズに行われ、適切な医療を受ける事ができるよう努めております。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回、看護師による訪問があります。その時に日々の心身の状態や情報、気づきを伝え、指示を受けながら、入居者様が適切な受診や看護を受けられるように支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族、医療機関との連絡を密に取り、早期退院に向けての話し合いを行っております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合、ご本人やご家族の意向に添い、状況によりターミナルケアを行う事もあります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署指導のもと、年に一度AEDを使って心肺蘇生訓練を行っております。急変時には各館職員が、協力、応援に入る体制を整えております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身に付けるとともに、地域との協力体制を築いている	災害についてのマニュアルを用意し、年2回、防災訓練を欠かさずに行っております。		

自己評価および外部評価結果

静岡県(グループホーム市野の家 3号館)

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねないような言葉遣いや支援を心掛けております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様が今何をしたいのかを聞きながら、ご本人様が自己決定出来るように努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースや体調を大切にしながら、本人の希望に添って自由に過ごせるように支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい個性を大切に身だしなみや、お洒落を楽しんで頂いております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	味はもちろんの事、盛り付けにも気を配っております。お好きな物を聞き、日曜日のメニューを取り入れたりしております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お食事の摂取量や水分量を常に記録し、変化がないか気を配っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事の歯磨きの声掛け、介助、義歯の手入れを行っています。月2回、歯科往診があります。		

自己評価および外部評価結果

静岡県(グループホーム市野の家 3号館)

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄習慣を把握し、トイレ誘導、声掛け、介助を入居者様毎に行い、自立に向けた支援を行っております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便があった日はチェックし、職員間で把握をして、散歩、体操等、便秘改善に良さそうな事柄は、随時取り入れております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	その日の体調等に注意しながら、ご本人の希望があれば、出来るだけ入って頂けるように支援しております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は個々の居室や共有スペースのソファで、自由に休憩を取って頂き、夜間は安心して気持ち良く眠れるように支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師から処方された薬の目的や、副作用、用法、用量について把握し、必要な服薬支援を行い、症状の確認に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人の出来る事、好きな事を探りながら、日々の生活の中で、役割や気分転換をして頂けるように支援しております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	出来る限り本人の希望に添って、買い物や散歩等、外出をして頂いております。		

自己評価および外部評価結果

静岡県(グループホーム市野の家 3号館)

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	普段は、紛失、盗難の恐れがある為、職員が管理していますが、買い物に出掛けた際には、本人に支払いをして頂くようにしております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙、電話共に、いつでも、ご自由に書いたり、かけたりして頂いております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花、植物を生けたり、掲示物にも季節感を取り入れ、1~2カ月毎に新しい掲示物に変えております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った入居者様同士で過ごして頂ける環境を整えたり、おひとりで過ごしたい入居者様には、そのような環境を整え提供し、支援させて頂いております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に、使い慣れた物や、好みの物を持って来て頂き、安心して居心地良く過ごせるように支援しております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレを示す表示や、居室前の名札で、入居者様が分かるように工夫しております。		

自己評価および外部評価結果

静岡県(グループホーム市野の家 3号館)

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	外部評価	
			自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容